

地域特性

元町1

参加組織の概要

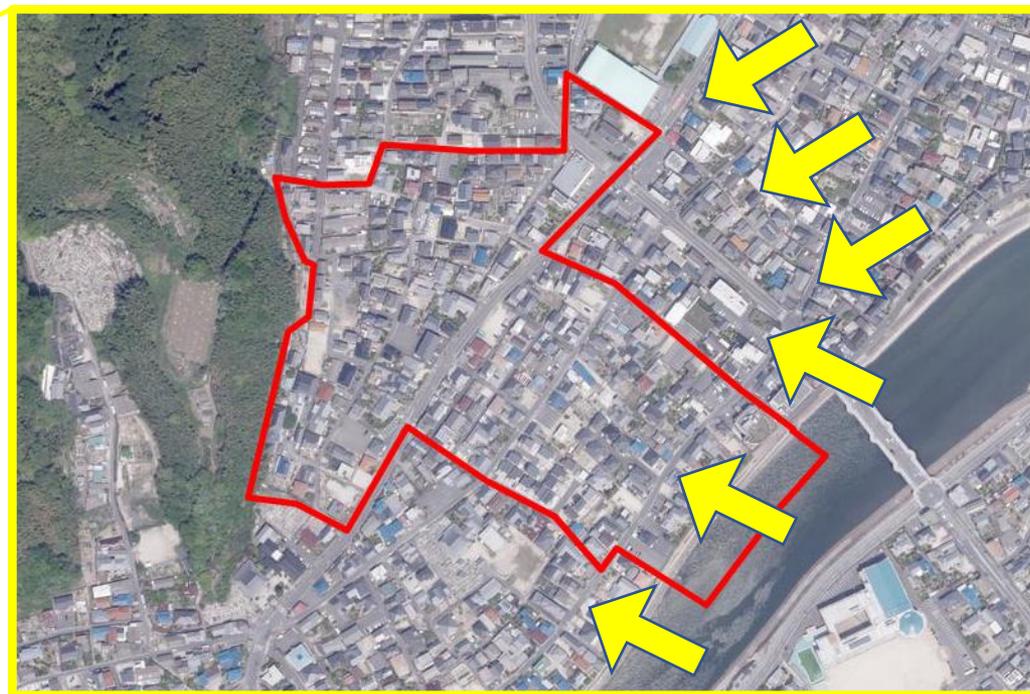
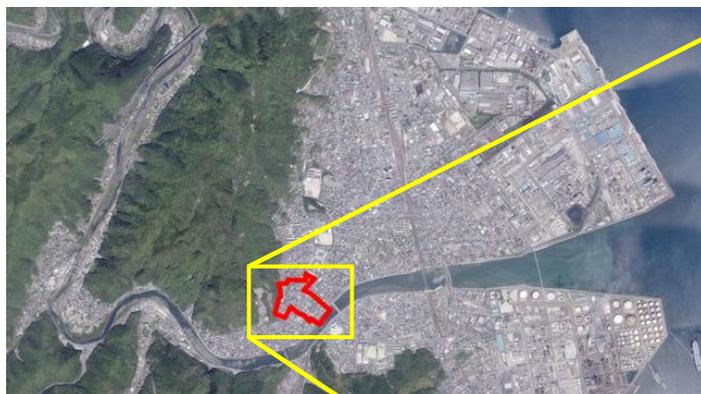
元町(もとまち)1丁目
自主防結成:H31.4.13

住民基本台帳(R4.4.1)
世帯数:230世帯
人口:549名

防災リーダー:1名(山瀧氏)

ハザードマップ			液状化危険度		最大震度	
土砂	洪水	津波	南海トラフ	安芸灘断層	南海トラフ	安芸灘断層
有	有	※	極高		6強~6弱	

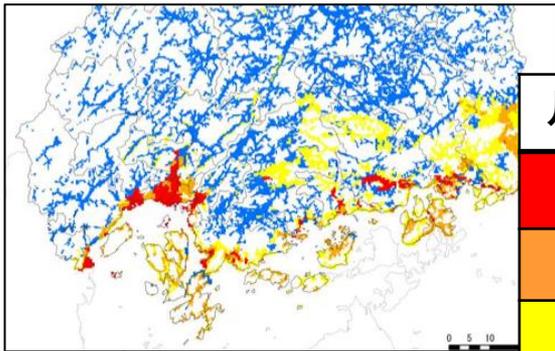
※ 津波浸水対象区域外であるが、海と河川が近いので津波避難が必要



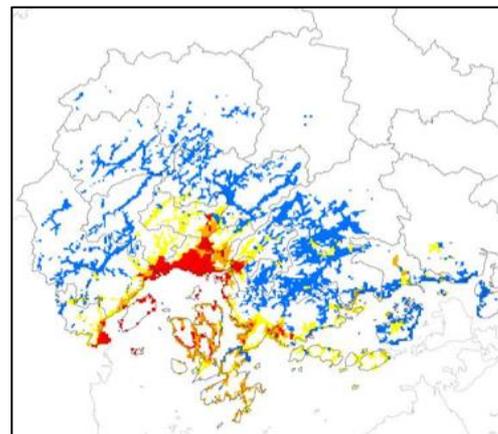
元町1 津波



液状化危険度

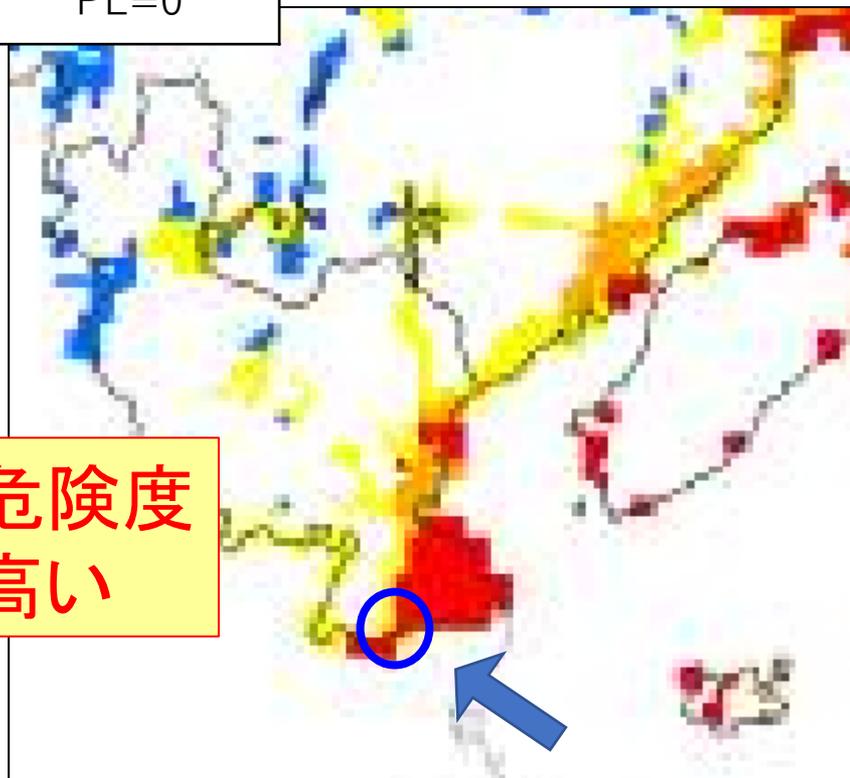
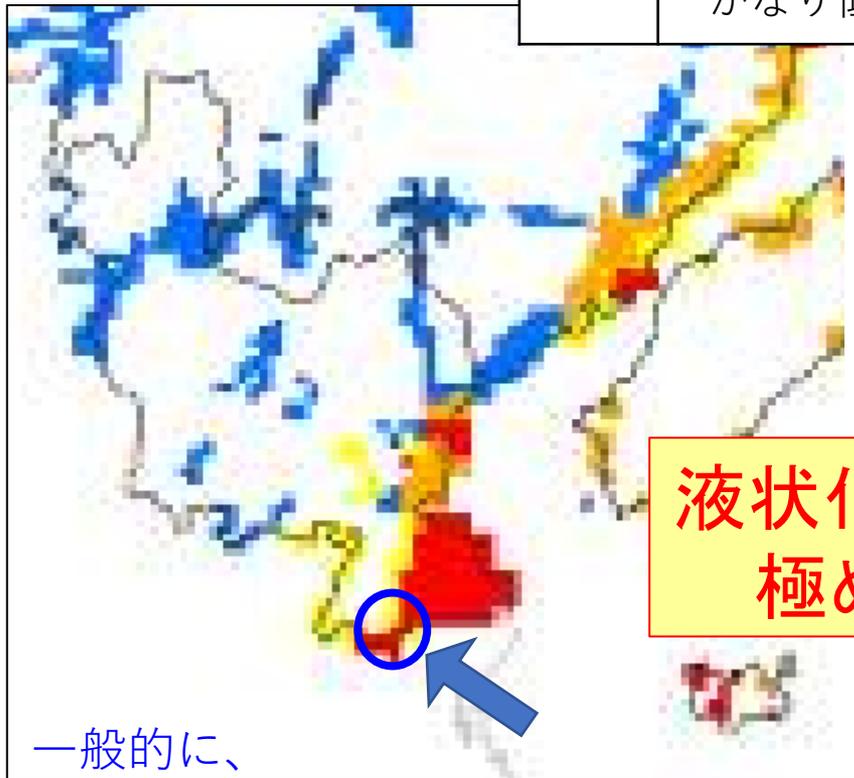


凡例	液状化危険度	PL値
	極めて高い	$30 < PL$
	かなり高い	$15 < PL \leq 30$
	高い	$5 < PL \leq 15$
	低い	$0 < PL \leq 5$
	かなり低い	$PL = 0$



南海トラフの場合

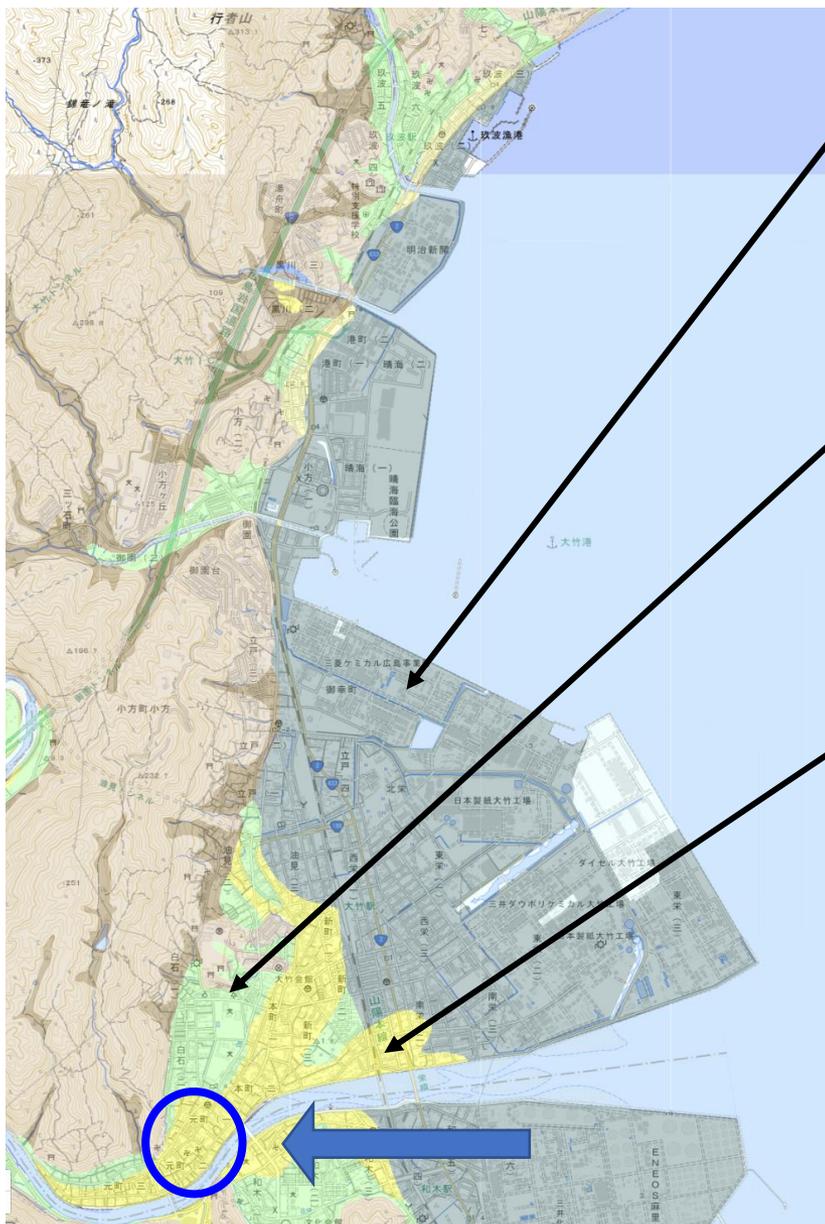
安芸灘断層群の場合



液状化の危険度
極めて高い

一般的に、
埋立地の液状化リスク低下 = 数十年～数百年後

地形分布



旧水部

江戸時代以前は海
現在は埋立地となっている場所
地盤は軟弱
液状化リスク大

氾濫平野

洪水で運ばれた砂や泥が堆積
地盤は海岸に近いほど軟弱
地震でやや揺れやすい
液状化リスクあり

自然堤防

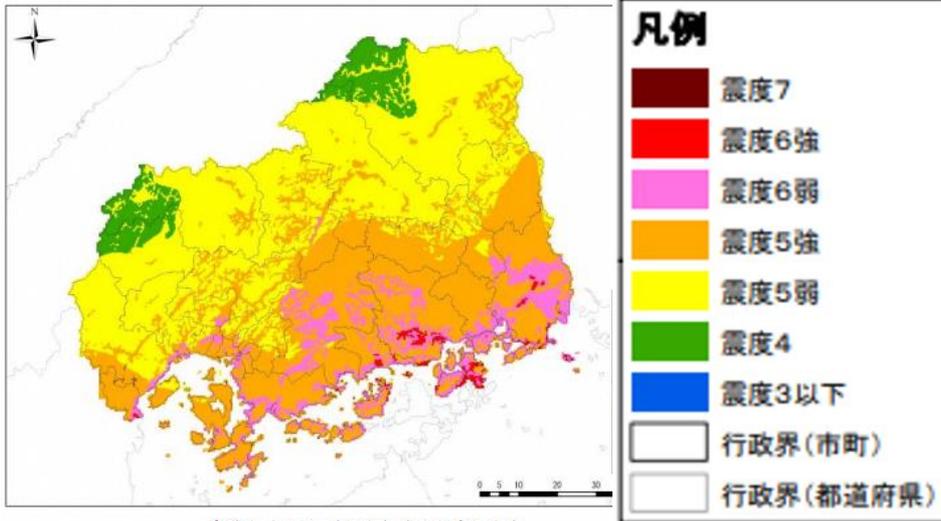
河川が氾濫して土砂が堆積
周囲より0.5～数メートル高い
縁辺部では液状化リスクあり



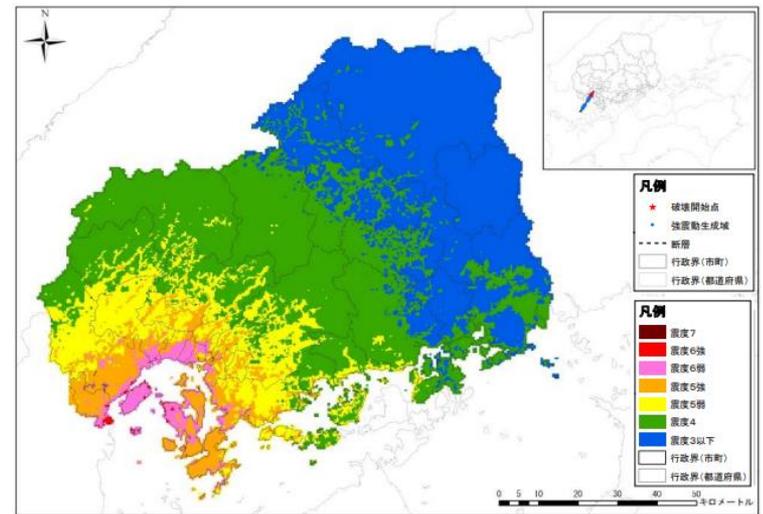
南海トラフ

震度

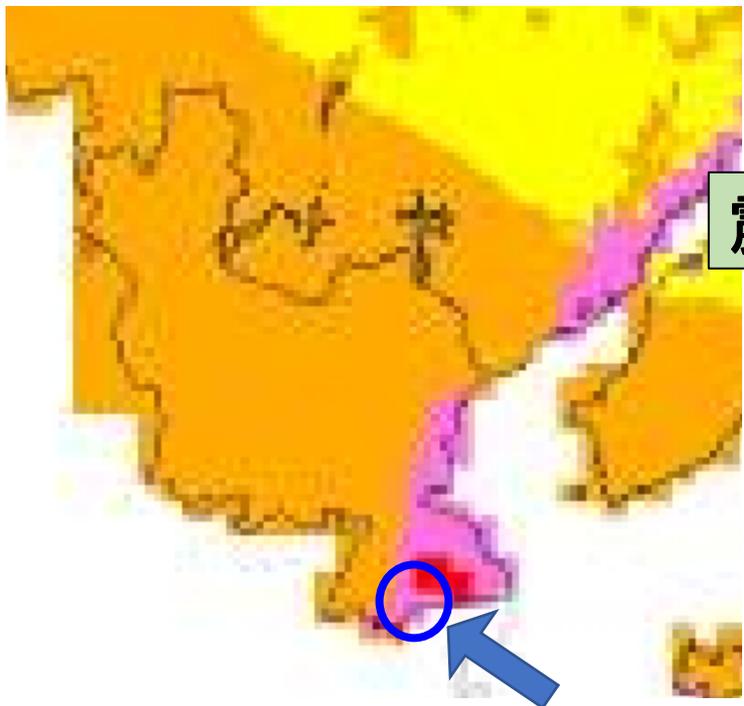
安芸灘断層群



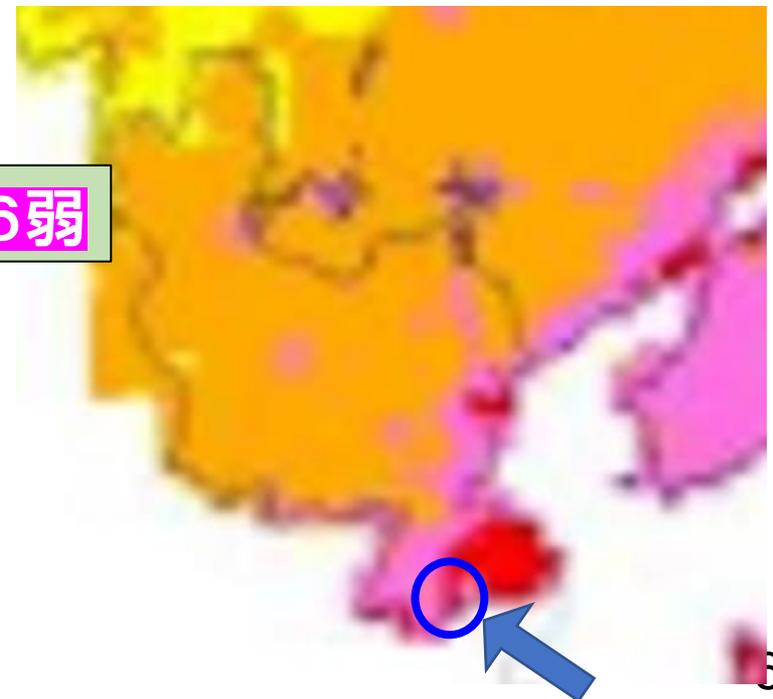
南海トラフ巨大地震（重ね合わせ）



安芸灘断層群（広島湾-岩国沖断層帯）の地震（北から破壊）



震度**6強**～**6弱**



地域特性

玖波1

参加組織の概要

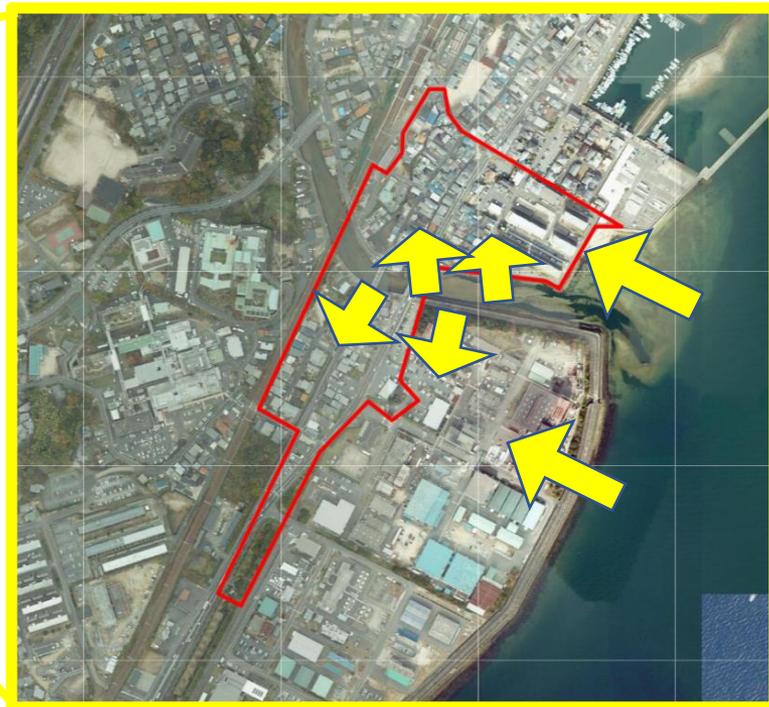
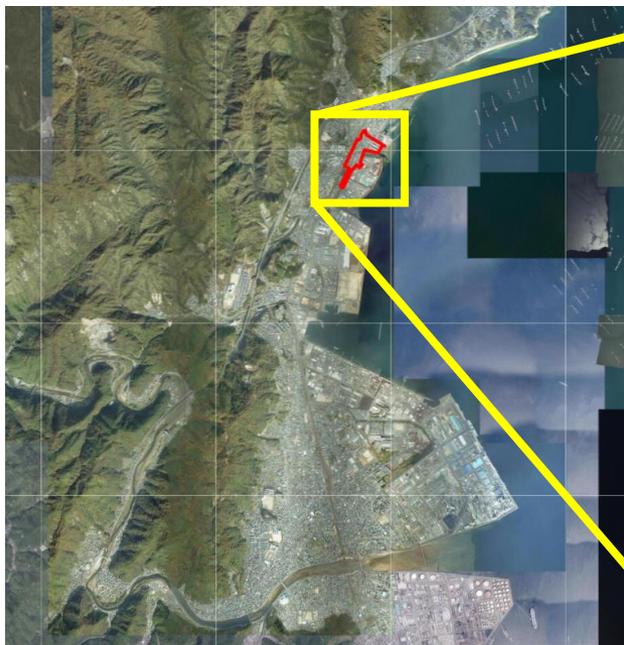
玖波(くば)1丁目
自主防結成:H18.7.21

住民基本台帳(R6.4)
世帯数:280世帯
人口:478名

防災リーダー:4名

ハザードマップ			液状化危険度		最大震度	
土砂	洪水	津波	南海トラフ	安芸灘断層	南海トラフ	安芸灘断層
なし	なし	○	極高～高		6強～6弱	

津波浸水対象区域であり
海だけでなく河川からも津波避難が必要

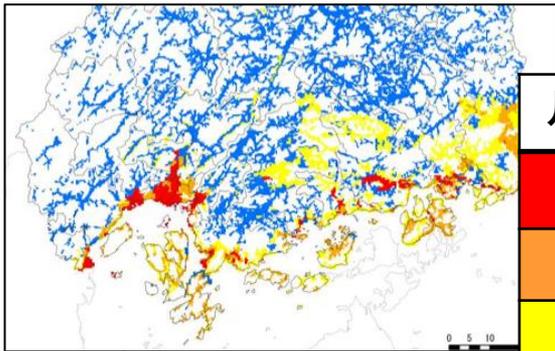


玖波1 津波



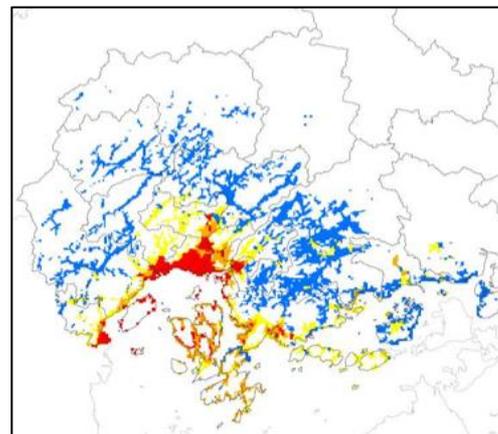
20m~		⊗
10~20m		
5.0~10m	2階の屋根以上が浸水する	
3.0~5.0m	2階部分まで浸水する程度	
0.5~3.0m	1階天井まで浸水する程度	
0.0~0.5m	大人の膝までつかる程度	人形

液状化危険度

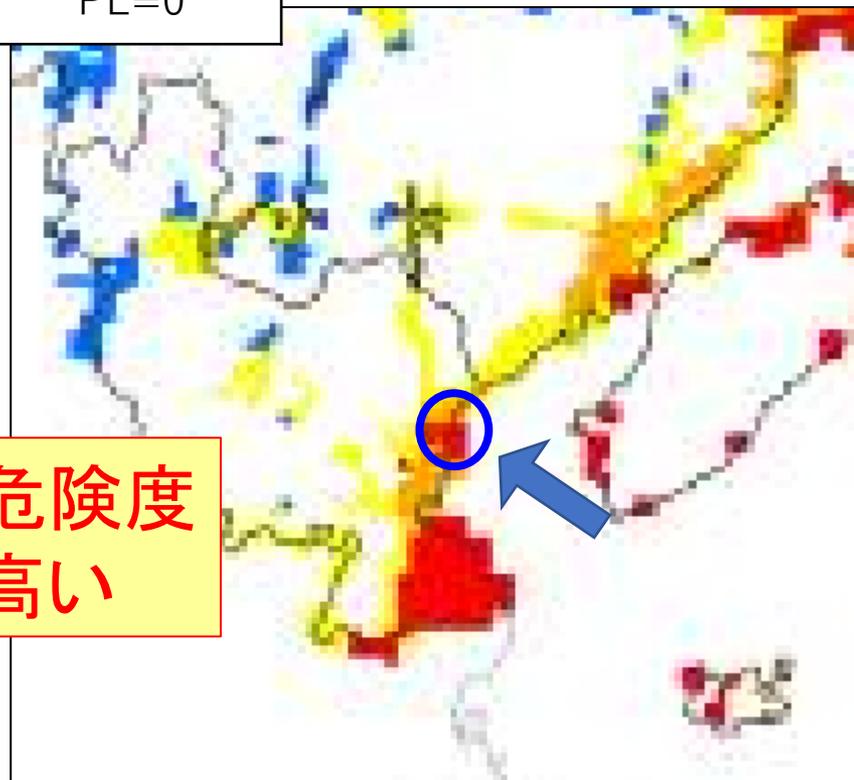
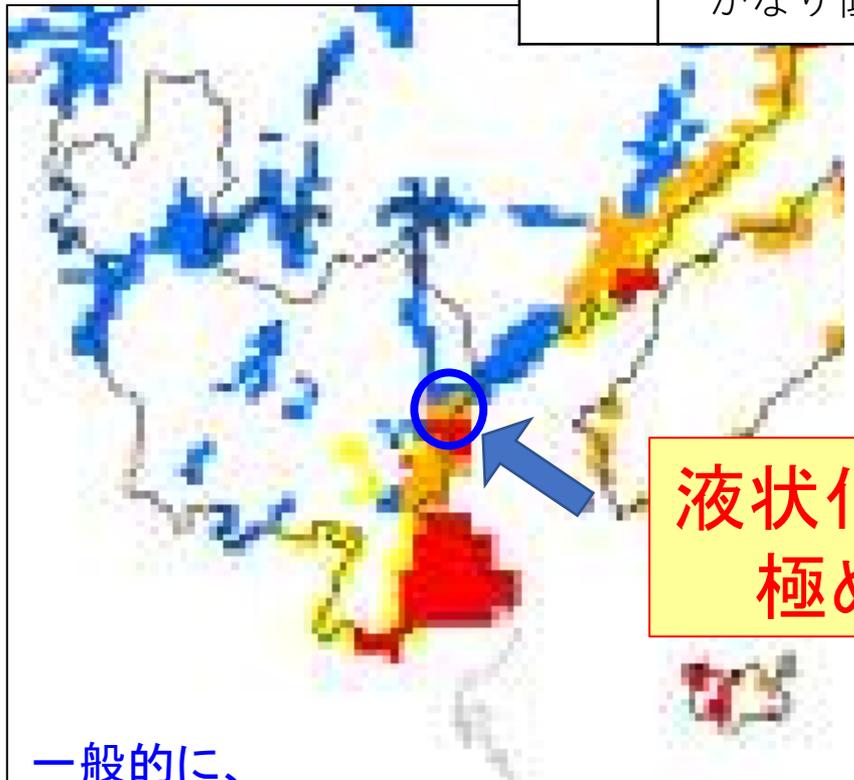


南海トラフの場合

凡例	液状化危険度	PL値
	極めて高い	$30 < PL$
	かなり高い	$15 < PL \leq 30$
	高い	$5 < PL \leq 15$
	低い	$0 < PL \leq 5$
	かなり低い	$PL = 0$



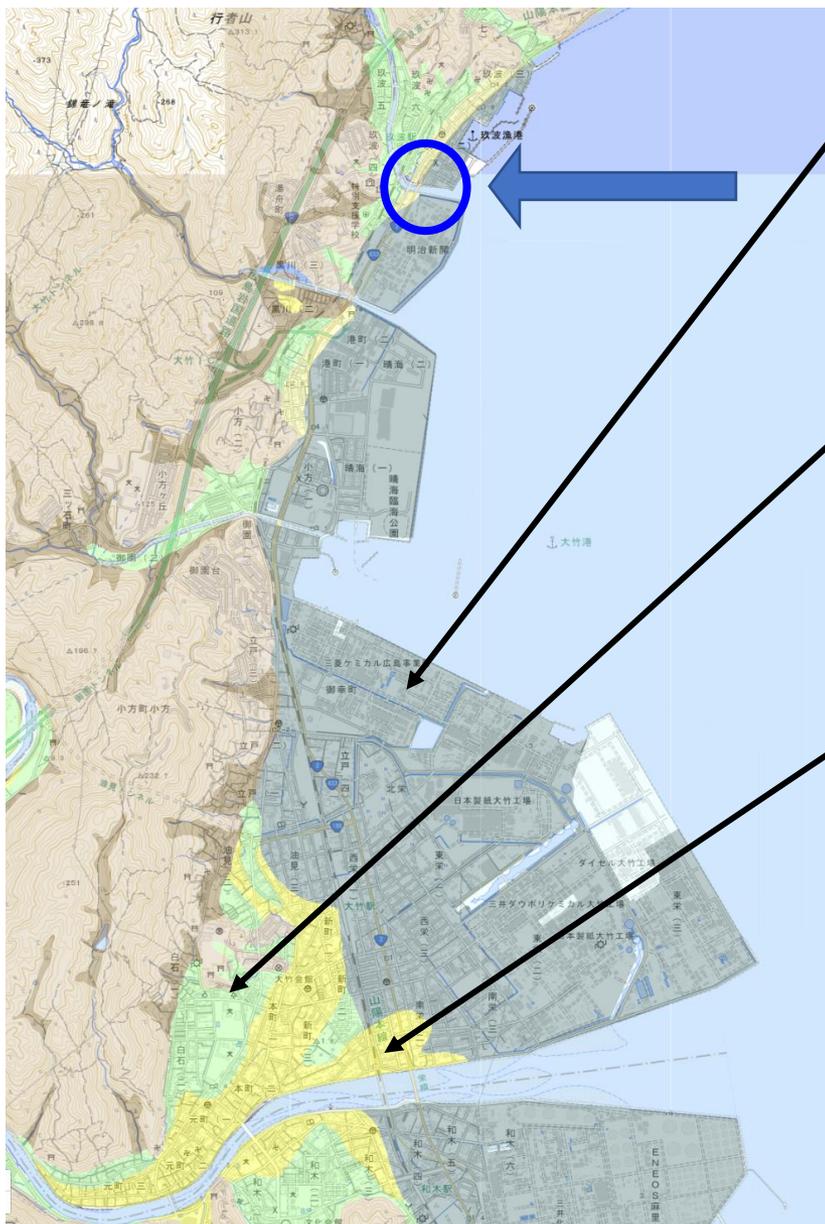
安芸灘断層群の場合



液状化の危険度
極めて高い

一般的に、
埋立地の液状化リスク低下 = 数十年～数百年後

地形分布



旧水部

江戸時代以前は海
現在は埋立地となっている場所
地盤は軟弱
液状化リスク大

氾濫平野

洪水で運ばれた砂や泥が堆積
地盤は海岸に近いほど軟弱
地震でやや揺れやすい
液状化リスクあり

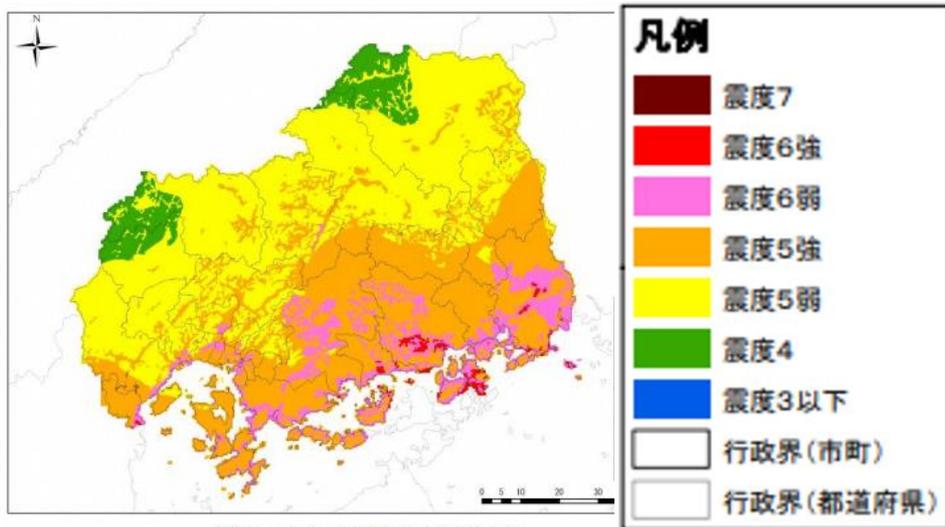
自然堤防

河川が氾濫して土砂が堆積
周囲より0.5～数メートル高い
縁辺部では液状化リスクあり



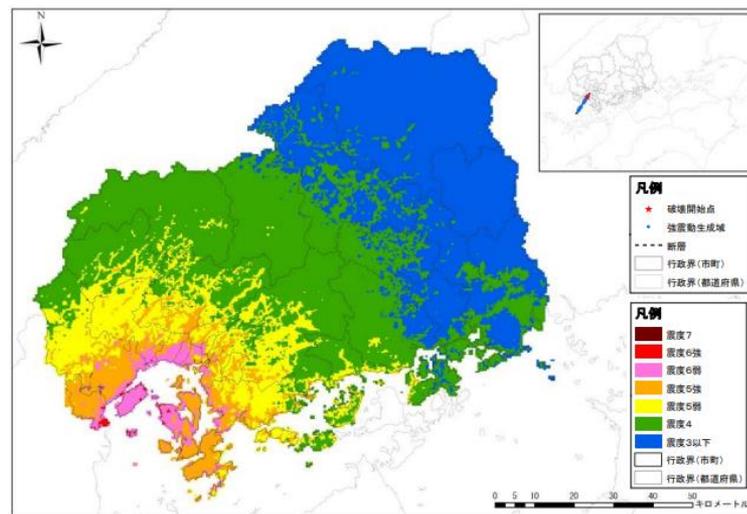
震度

南海トラフ

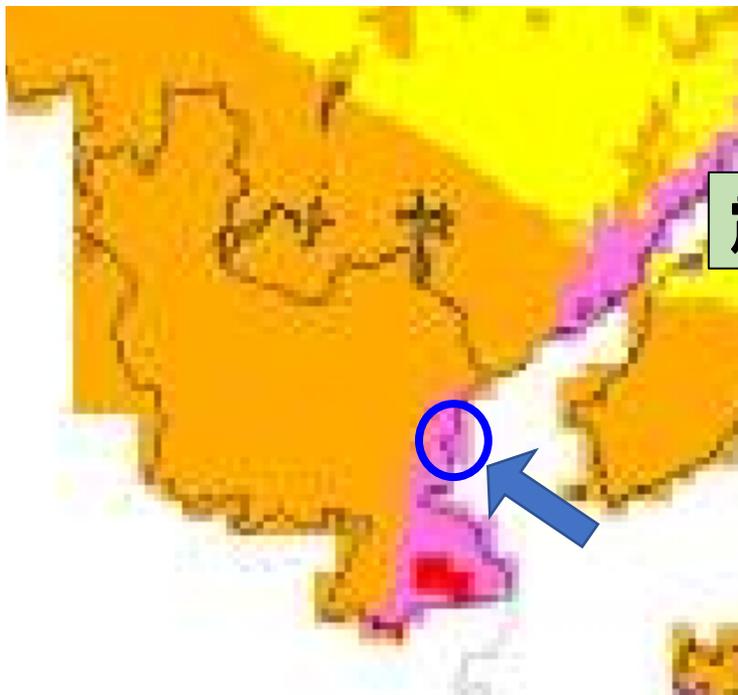


南海トラフ巨大地震（重ね合わせ）

安芸灘断層群



安芸灘断層群（広島湾－岩国沖断層帯）の地震（北から破壊）



震度6強～6弱

